経

五年

画数 11
筆順 糸 糸 糸 経
オン ケイ・キョウ
クン へ＝る

成り立ち

織機（布を織る機械）に〝たて糸〟が張られている形を表した〝巠（圣の本字）〟と、〝糸〟とを組み合わせて作った字です。

織機にかけられた〝たて糸〟を表した字です。

布は、たて糸が〝基〟になって、横糸がこれに交差して織られます。それで、〝基（基本）〟という意味に使われます。例経常、経典。

「布を作る」意味から、〝営む〟という意味に使われます。例経営、経世、経済。

また、「布は、横糸が一本一本往復して次第に進行して行ってできあがるもの」ですから、「次第に進行して行く（へる）」という意味にも使われます。例経過、経路。

使い方

▽どんな事でも、経験しないことには、ほんとうには理解できるものではない、と言われています。年を経て経験を重ねることにより、一人前の人となるのだと思います。

熟語例

▽経線（地球の北極と南極を結ぶ〝たて〟の線。イギリスのグリニッチ天文台を通る経線を0度とし、三百六十度に分けて、地球上の地点を表すのに使います。）

▽経緯（たて糸と横糸。経線と緯線。経と緯とで完成するので、「物事のくわしい事情」の意味に使われます。例事件の経緯を説明する。）

▽経典（学問の基本となる書物のこと。仏教では〝お経〟と言います。）

▽経営（基本を立てて事業を営むこと。例会社の経営がうまく行かない。）

▽経世（この世を経営すること。政治）

▽経済（経世済民（民衆を救済すること）の略語ですが、今は、「生活に必要な物を手に入れたり、利用する活動」の意味に使われます。）

潔

五年

画数 15
筆順 氵 氵 氵 氵 氵 氵 潔 潔
オン ケツ
クン いさぎよ＝い

成り立ち

神にいのる時に供える糸を表した〝絜（契りの糸という意味）〟と、〝氵〟とを組み合わせて作った字です。

神にいのる時には、だれでも〝清らか〟な心でいのるものです。その〝清らかな心〟を表したのが、〝絜〟で、〝潔〟は「水が清い」ことを表した字です。しかし、今では、〝清〟と同じように〝水〟に関係なく使われています。例清潔、潔白、純潔。

「心や行いが清い（いさぎよい）」という意味に使われます。例廉潔、高潔。

また、「余分なものがなくて〝すっきり〟している」という意味にも使われます。例簡潔。

使い方

▽父は、部下の失敗の責任を取り、潔く社長の地位を退きましたので、永く高潔の人だという評判を得ました。

▽清潔好きなのは結構ですが、度が過ぎますと、潔癖と言って良くありません。

熟語例

▽潔い（とても清らかであること。心に汚れがないこと。行いがりっぱであること。態度がさっぱりとしていること。）

▽清潔（清くて汚れがないこと。体についても心についても言います。）

▽潔白（心や行いが清く、汚れがないこと。例身の潔白を証明する。）

▽高潔（心が潔く、行いが高尚なこと。心や行いにいやしい所がないこと。）

▽潔癖（不正や不潔を極端にきらう性格。異常な清潔好き）

▽廉潔（心や行いが清く正しいこと。廉は正しいこと。〝清廉〟とも言い、〝清廉潔白〟とも言います。）